

大南の軌跡

武蔵村山市立 小中一貫校
大南学園第七小学校
学園だより NO3
令和7年5月28日

自然がある

武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校

校長 川口 周作

先日の中休みの時間、校長室に来た5年生の児童に「出身はどこですか」質問されました。私は「ここから1600Km離れているところです」と答えました。4年生の社会で学習した日本全国の地名の覚えている限りの県名を一生懸命に答えていました。しかし、なかなか正解ができません。翌日も、答えに来てくれましたが、なかなか正解にたどりつくことはできませんでした。

ちなみに私の生まれ育った地は、都会的な一面と海や山、川が全て身近にある場所です。そして、毎日のように火山灰が降る中で生活していました。

さて、東京都は農業としての「田んぼ・水田」がごく一部の地域にしかありません。武蔵村山市には、鑑賞・学習用としての水田があります。本市の野山北・六道山公園付近の2か所にあります。一つは里山体験エリアです。雑木林・畑・水田・果樹園もあります。こちらは、江戸時代の母屋を復元したものがあり里山文化の学習や体験ができます。本校の3年生が社会科見学に行く場所でもあります。もう一つは、市立野山北公園内プール付近に市の学習水田があります。市内全校の5年生が田植え・稲刈りの体験を行っています。

この付近は、広大なアスレチックや自然散策できる遊歩道があります。一番身近に自然を感じることができる武蔵村山のお薦めの場所です。幼児期から学童期に自然に触れることは、子供にとってよい刺激になります。学校の学習農園や植物を育てる学習も自然に触れることの一つです。

モノレールが開通する頃、市内の様子が変わっているかもしれません。できれば、豊かな自然が残り、さらに発展した街になるということが理想です。そして、学校は、これからも自分たちの育った街を自慢できる子供を育てるために教育活動を進め、市や地域と協働していきます。

「ふれあい月間」

毎年6月・11月・2月に設定している取組で、都内の小・中学校でいじめ防止を強化する月間です。この期間中、いじめの状況を総点検し、早期発見・早期対応、未然防止につながる具体的な活動を実施します。

主な取り組みとして

・いじめの防止に関する授業 ・児童向けアンケート調査 ・教員向け研修 などを実施します。

また、今年度、本校は「人権の花運動」推進校です。法務省の人権擁護機関と区市町村が連携し、昭和57年度から主に小学生を対象として実施しています。児童が協力して花を栽培することによって、生命の尊さを実感する中で、豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としている活動です。

※学校ホームページ 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校（Xがご覧いただけます）

<https://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced7sc/index.html>